

2017年5月19日

株式会社レノバ

**仙台市蒲生北部市有地利活用に係る事業者募集に関して
～100%木質バイオマス発電事業計画が仙台市公募案件に採択～**

株式会社レノバ（東京都千代田区、代表取締役社長 CEO 木南陽介）は、2017年3月より宮城県仙台市が募集していました「仙台市蒲生北部市有地利活用に係る事業者募集」に対して、応募していましたが、本日仙台市から本事業者のひとつとして採択された旨の通知がありましたので、お知らせいたします。

今般提案した計画は、仙台市蒲生北部被災市街地復興土地区画整備事業の敷地内において100%木質バイオマス発電事業を行うものです。本事業を実施することで、仙台市が2030年までに目指している温室効果ガスの削減計画に対して貢献ができる見込みです。さらには、分散型電源の設置により防災力の向上に寄与するとともに、新たに整備された都市基盤を活用することで地域経済の活性化に貢献し、仙台市の復興、未来に向けたまちづくりに資することを目的としています。

本発電事業については、今後地域の関係者のみなさまへの説明会の実施、条例に基づいた環境影響評価を実施するなど、慎重に事業化を進めていく予定であります。

＜発電事業の概要＞

事業名称	(仮称) 仙台バイオマス発電事業
場所	仙台市蒲生北部被災市街地復興土地区画整備事業の敷地内
発電方式	木質バイオマス発電
燃料	主燃料：木質ペレット（北米およびアジアからの輸入） 補助燃料：パーム椰子殻（PKS）、輸入木質チップ

※本内容は、あくまでも現時点での計画値でありますので、今後変更となる可能性があります。

以上

「リリースに関するお問い合わせ先」 株式会社レノバ 社長室

Tel : 03-3516-6263 / Eメール press@renovainc.jp